

危険物取扱者試験 試験案内

消防法(昭和23年法律第186号)第13条の5第1項の規定により神奈川県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

一般財団法人 消防試験研究センター神奈川県支部

※試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえで申込みをしてください。
申込みされた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。
なお、記載内容または、記載のない事でご不明な点がある方はお問合せください。

願書の作成から免状の交付申請まで

試験概要を理解し、どの試験種類をいつ受験するか消防試験研究センター神奈川県支部のホームページ等で試験日程を確認して決める。

受験願書の作成・申請

書面申請 : 郵送による申請 P4

電子申請 : インターネットによる申請 P5

受験願書の作成 P10～12
受験願書記入例参照

受験願書の提出 P4
P1の宛名ラベルをご利用ください。

受験票の受領 P5～6
受験票は試験日の約1週間前に郵送します。

受験願書の作成提出 P5

(一財)消防試験研究センターのホームページから
申請してください。

<https://www.shoubo-shiken.or.jp>
TEL 0570-07-1000

受験票のダウンロード P5～6
受験票は申請者が印刷してください。
(試験日の約1週間前に受験票の印刷が可能になります。)

受験票に写真を貼付 P6

試験日には、写真を貼った受験票を持参してください。
受験票には、試験室及び集合時間が記載されているので遅れずに集合してください。

受 験

P7・9

合格発表 P7

試験当日、合格発表日をお知らせします。

合格の方

免状交付申請 P7～8

再受験する方

受験票や結果通知書は、電子申請の資料にもなりますので大切に保管してください。なお、甲種を受験された方は甲種を再受験する際の受験資格を証明する添付書類になります。

神奈川県支部のホームページ「緊急のお知らせ」「重要なお知らせ」で試験の中止・延期等の変更などの情報をお知らせいたしますのでご自身で確認をお願いいたします

神奈川県で受験する方は、宛名ラベルとして使用してください。

- ・郵便料金を確認し「簡易書留」又は「特定記録」郵便で送付してください。
- ・料金が不足している場合は受取ることはできません。
- ・折り曲げないでA4サイズの封筒で送付してください。

〈送付先〉

願書は折り曲げずに郵送してください。…… ✕ キ リ ト リ ……

〒231-0015

横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階
(一財)消防試験研究センター 神奈川県支部 試験係

受験願書は、受験を希望する都道府県の支部等に郵送してください。

試験日程

試験日、願書受付期間、実施する試験種類、試験会場および案内図、試験時間（集合時間及び試験時間）は消防試験研究センター神奈川県支部のホームページ等で確認してください。神奈川県支部「試験日程」「試験会場」に3月中旬頃掲載予定。

なお、日程・会場等は変更する場合があります。申請する前、受験する前に必ず確認をお願いいたします。

※会場の収容人数を超える場合は、受付期間内であっても受付を締め切る場合がありますのでご了承ください。

試験の種類と試験時間

試験日により、集合時間及び試験時間が異なりますのでホームページや受験票で必ず確認してください。

また、試験時間は当支部が「受験票」で指定した時間になり、受験者本人が選択することはできません。

集合時間を間違えないように注意してください。

危険物取扱者免状の種類と取扱いができる危険物の種類

甲種、乙種は下記の危険物の取扱いと定期点検、保安監督ができます。また、甲種、乙種の危険物取扱者が立ち会えば危険物取扱者免状を取得していない方も取扱いと定期点検を行うことができます。

丙種は下記の危険物に限り取扱いと定期点検を行うことができます。

試験の種類		取扱いのできる危険物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜鉛素酸塩類等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等
	第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等
丙 種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油等

試験種類別の試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲 種	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙 種	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙 種	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

● 甲種危険物取扱者試験……受験資格が必要です。なお、試験科目の免除はありません。

- ・受験資格及び必要証明書類の詳細については、P13 別記のとおりです。
- ・受験願書に該当する資格を記入するとともに証明書類を添付してください。

● 乙種危険物取扱者試験……受験資格は必要ありません。

試験科目の免除

乙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。
免除を希望される方は、受験願書に該当項目を記入するとともに免状のコピーを貼付してください。

免 除 資 格 者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
乙種危険物取扱者免状 をお持ちの方	全 類	①法令	全部免除	0 問	10問	35分
		②物化	全部免除	0 問		
		③性消		10問		
火薬類免状をお持ちの方	第 1 類 第 5 類	①法令		15問	24問	1 時間30分
		②物化	一部免除	4 問		
		③性消	一部免除	5 問		
乙種危険物取扱者免状 及び火薬類免状をお持ちの方	第 1 類 第 5 類	①法令	全部免除	0 問	5 問	35分
		②物化	全部免除	0 問		
		③性消	一部免除	5 問		

〔備考〕火薬類免状とは、次の免状をいいます。

- ◇甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
- ◇甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

● 丙種危険物取扱者試験……受験資格は必要ありません。

試験科目の免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。
免除を受ける方は、受験願書に科目免除の該当項目を記入し次の証明書類を貼付してください。〔コピー可〕
①「5 年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」（消防団長又は市町村長が証明するもの）
②「消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」（消防学校長が証明するもの）

免 除 資 格 者	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
5 年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第 4 項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	①法令		10問	20問	1 時間00分
	②燃消	全部免除	0 問		
	③性消		10問		

● 複数種類の受験……電子申請はできません。

《乙種危険物取扱者免状を取得している方》

午後の試験時間に乙種を 3 種類（乙種第 4 類を除く）まで受験することができます。
この場合、試験時間は 1 種類につき35分ずつです。

乙種を 2 種類受験の場合 試験時間 35分× 2 種類 = 1 時間10分
乙種を 3 種類受験の場合 試験時間 35分× 3 種類 = 1 時間45分

《乙種危険物取扱者免状を取得していない方》

午前・午後で 1 種類ずつ受験することができます。但し午前は乙種第 4 類の受験となります。
※試験日により異なる場合があります。

受験願書は受験する種類ごとにそれぞれ 1 枚ずつ作成し、同じ封筒で申請してください。

受験の申請方法： **書面申請** と **電子申請** の 2 通りがあります。

- ・会場の収容人数を超える場合は、受付期間内であっても受付を締め切る場合がありますのでご了承ください。
- ・同一試験日に、書面申請と電子申請で重複して申請することはできません。
- ・試験当日、病気・負傷・障害等により受験上の配慮（車椅子の使用等）を希望される方は、**受験願書提出前に（電子申請の方は申請前に）** 神奈川県支部までご連絡ください。
- ・受験願書に虚偽の記載をしたり、虚偽の証明書等を提出した場合は、受験を拒否し、または合格した後これらの事実が判明したときはその合格を取消します。

書面申請

について……書類の郵送により受験申請をするもの。

(1) 申請に必要な書類

受験願書

- ・受験種類ごとにかい書でいねいに受験者本人が黒色のボールペンで記入してください。
- ・同じ試験日に2種類以上受験する方は、受験する種類ごとに受験願書が必要です。
必ず同じ封筒に入れて提出してください。

《願書に貼付するもの》

① 試験手数料（消費税はかかりません。）

甲種 7,200円

乙種 5,300円

丙種 4,200円

P10記入例参照

- ・「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。紛失、汚損等した場合は、再度払込みのうえ、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書に貼り付けてください。
- ・なお、再度払い込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を発見し提出したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

◆払込用紙で払込みの場合

- ・試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払込んでください。払込みには、所定の払込み手数料が必要です。（ATM機での振込不可）
- ・郵便局又はゆうちょ銀行から戻ってくる試験手数料の「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受付日の日附印があることを確認のうえ、受験願書B面にのり付けしてください。
- ・本人用の「振替払込請求書兼受領証」では申請できません。
- ・必ず受験申請者氏名を記入してください。（企業名のみは不可）

◆2次元コード経由で払込みの場合

- ※2次元コードは、願書ごとに識別番号が振られているため、必ず提出する受験願書の2次元コードを使用してください。
- ・払込用紙を使用せず受験願書B面の2次元コードを読み取り、払込みしてください。2次元コードを利用した場合は、必ず受験願書B面下部の決済番号記入欄に18桁の決済番号（決済完了メール等に表示有）を記入してください。試験手数料の払込みには、所定の払込手数料230円（消費税込み）が別途必要になります。
- ・利用できる決済手段
 - （ア） ペイジー（Pay-easy）決済 ※情報リンク方式、オンライン方式
 - （イ） コンビニエンスストア決済（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ（デイリーヤマザキは一部店舗を除く。））
 - （ウ） クレジットカード決済（VISA、MasterCard、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース）
 - （エ） スマホ決済（PayPay、メルペイ）

※同封されている振込用紙は使用しないでください。

※2次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を間違いなく選択し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。受験する試験の受付期間中のみ決済可能です。

※一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て三井住友カード株式会社に業務委託しております。

② その他の必要書類（受験願書B面裏にのり付けしてください。）

- ・危険物取扱者免状を取得されている方…危険物取扱者免状のコピー表・裏
- ・甲種を受験する方……………受験資格を証明する書類
- ・乙種の試験科目免除を受ける方……………証明する書類
- ・丙種の試験科目免除を受ける方……………証明する書類

(2) 願書の提出方法

- ・受験願書（必要書類が貼付されている）は、願書受付期間内に「簡易書留」又は「特定記録」郵便で送付してください。（折り曲げ厳禁）
- 各試験日の受付最終日の消印があるものまで受付けます。

願書の提出先（P1の宛名ラベルをご利用ください。）

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階
（一財）消防試験研究センター 神奈川県支部 試験係

※神奈川県で受験する願書以外は受付けません。

受験願書は、受験する都道府県の支部等に郵送してください。

（注 意）

- ・受付けした願書は、受付期間を過ぎてからの取止めはできません。「試験日」・「試験種類」・「試験時間」・「科目免除」等の変更もできません。
- ・受付けした受験申請書類、試験手数料はお返しできません。
- ・受付期間外に提出された願書、記載事項や貼付書類等に不備がある願書は受付けできません。受験申請書類を申請者負担で返却いたします。
- ・受験願書が受付けされているかどうかの問合せには応じることができません。

電子申請

について……インターネットにより受験申請するもの。

- ・受付開始日午前9時より最終日23時59分まで受付けます。
- ・試験手数料（消費税はかかりません。）

試験手数料は、P4に記載の「利用できる決済手段」から選択し、それぞれの手続きに従って払込んでください。払込みには所定の払込手数料230円（消費税込み）が必要になります。

※一旦払込みされた試験手数料はお返しできません。

（注 意）

※神奈川県支部では電子申請ができる試験種類は1種類のみです。（2種類以上受験する方はすべて書面申請をお願いいたします。）

※危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状番号の入力が必要です。

電子申請の問合せ先

（一財）消防試験研究センター 電子申請室

電話 0570-07-1000（有料） 受付時間 平日 午前9時から午後5時まで

詳細は、（一財）消防試験研究センターホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>) に利用方法やQ&Aが掲載されていますので、ご確認のうえ、お申込みください。

受験上の配慮について

受験に際し、病気、負傷や障害等により受験上の配慮を希望する場合は、**受験願書提出前に（電子申請の方は申請前に）、申請書（当センター所定の様式）等の書類を提出していただきます。**詳細については当支部にお問い合わせください。

なお、日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子、拡大鏡、ルーペ等の使用を希望する場合も事前にご連絡ください。

- ・当日の申し出には応じられない場合があります。
- ・希望する配慮事項により対応の検討に時間がかかる場合があります。
- ・受験願書提出後（電子申請の方は申請後）に不慮の事故や症状の悪化等のために受験上の配慮を希望する場合は、速やかにご連絡いただくとともに、対応できない場合がありますのでご了承ください。

受験票及び写真について

受験票の送付	書面申請	試験日の約1週間前に受験票（圧着ハガキ）を郵送します。 受験票が試験日の3日前になっても届かない場合は、 必ず試験前々日（祝日を除く月曜から金曜日）の17時までに当支部へ連絡してください。
	電子申請	申請時に入力された電子メールアドレスあてに『受験票印刷可能メール』を試験日の約1週間前に送信します。受験者本人がダウンロードして受験票をA4サイズ用の紙に（拡大・縮小しないこと）印刷してください。

受験票の内容をよく確認し、受験票に受験者氏名を記入してください。

《氏名・住所に誤りがある場合》

試験当日、試験会場（試験本部）で記載事項の修正用紙を受取り、正しい内容を記入し提出してください。

《試験の種類・免除科目が申し込み内容と違う場合》

試験前々日（祝日を除く月曜から金曜日）の17時までに当支部へ連絡してください。試験当日では申出に応じることができませんので必ず確認してください。

《受験票を紛失又は届かない場合》

試験当日、試験会場（試験本部）に写真付きの本人確認ができるマイナンバーカード、運転免許証やパスポート、受験票に貼る写真（4.5cm×3.5cm）を必ず持参してください。受験票を再発行いたします。試験時間がわからない方は、8時40分までにお越しください。

・・・ 受験票は必ず記載内容を確認し、試験当日は写真を貼って持参してください。・・・

《書面申請による受験票の見本》

危険物取扱者試験 受験票(控)			
複数受験者座席番号(1234)			
受験番号	C2-0001	試験の種類	乙種第2類
カナ氏名	〇〇〇〇〇	氏名	〇 〇 〇 〇
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日(2/2) 13時00分集合 13時30分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	1001講義室		
免除科目	法令全部・物化全部	資格判定コード	02
既得免状	乙3、丙		

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

複数受験者の方は
「複数受験者の座席番号」
が記載されます。

試験会場・試験室を確認
してください。

氏名を記入してください。

《電子申請による受験票の見本》

危険物取扱者試験 受験票(控)			
複数受験者座席番号(1234)			
受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	〇〇〇〇〇	氏名	〇 〇 〇 〇
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日(1/2) 9時00分集合 9時30分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	1001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			
受験者 現住所	〇〇県〇〇市〇〇町 1-23-45		

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

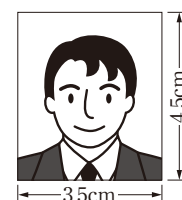
正しい文字が入力できな
かった方は試験当日試験
本部で修正してください。

印字されている住所を確認
してください。

写 真 に つ い て

- ・受験日前6ヵ月以内に撮影した写真。
- ・正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く)、無背景、上三分身像。
- ・縦4.5cm×横3.5cm(又はパスポート規格)の大きさで枠なしの鮮明なもの。
- ・髪が目にかからないこと。
- ・イヤホン、サングラスやマスクの着用、写真のコピーは不可
- ・デジタル写真は写真専用用紙に印刷(プリント)した鮮明なものに限ります。
- ・裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。
- ・セロハンテープで貼らないこと。

* 良い写真 *



* 悪い写真 *



- ・写真は、受験者本人の確認及び免状作成の際に使用します。

試験の約1週間前に受験票をダウンロードして
A4の用紙に印刷してください。(拡大・縮小し
ないこと)

試験の方法

マークシートを使う筆記試験です。

(甲種、乙種については5肢択一式、丙種については4肢択一式です。)

なお、問題集は試験終了後回収します。

合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験はともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。)

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、試験科目の一部(火薬類免状)が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

合格発表

- (1) 合格発表の日は試験会場でお知らせします。(合格発表予定日より早まる場合があります。)
- (2) 発表日には、神奈川中小企業センタービル1階の掲示板に合格者の受験番号を公示するとともに、当センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)にも合格発表日の正午から合格者の受験番号を掲示します。また、**受験者全員に試験結果通知書を合格発表日に郵送します。**(試験に欠席された場合は、試験結果通知書は郵送しません。)

なお、受験番号や試験結果の合否、試験問題及びその解答に関する問合せには、一切応じられません。

※ **結果通知書が結果発表後10日たっても届かない場合は、1か月以内に連絡をしてください。**

(連絡がない場合は、到着したものとみなします。)

試験合格後の免状交付申請について

[2025年4月1日現在] ※最新の申請方法はホームページをご確認ください。

● 次のものを用意のうえ、郵送にて申請してください。

- ・ **免状交付申請書**(免状交付申請書と試験結果通知書は切離さないでください。)

試験合格者の試験結果通知書には免状交付申請書が添付されています。

印字されている内容で免状を作成します。氏名、生年月日、本籍等変更がある場合は赤字で訂正してください。なお、既得免状のある方の変更は書換申請が必要です。

- ・ **免状交付手数料**(消費税はかかりません)

神奈川県収入済通知書(納付書)により申請1種類につき、2,900円を支払いし、「納付済証」を交付申請書の裏面に貼ってください。※神奈川県収入証紙を既にお持ちの場合は令和8年3月末まで利用可能です。詳しくは神奈川県消防保安課(電話 045-210-3436)のホームページをご確認ください。

神奈川県の収入済通知書(納付書)は試験会場・神奈川県内消防本部(局)及び主な消防署で配布します。

- ・ **新規免状送付用封筒**(新たに交付される免状を申請者にお送りするための封筒)

定形封筒の表面に申請者の住所氏名を記載し、460円(2025年4月1日現在)分の切手(簡易書留郵送料)を貼ってください。裏面には受験番号を記入してください。

2名以上申請をされる場合はご連絡ください。(返信用封筒または名簿に申請者の受験番号・名前がない場合、発送できません。)

- ・ **既得危険物取扱者免状**

すでに、危険物取扱者の免状を持っている方は必ず申請書と一緒に提出してください。

なお、交付申請中に次の試験を予定している方は、受験願書に添付する免状のコピーを必ず用意してから交付申請してください。

(タンクローリーに乗車するため免状を常時携帯しなければならない方は、当該免状のコピー(表と裏)に『タンクローリーに乗車』と記載して提出してください。この場合、新しい免状の交付は既得免状と引換えになりますので前掲の新規免状送付用封筒は不要です。)

- ・ 免状に旧姓の併記を希望する場合は、当支部にご連絡ください。

試験当日の注意事項

- (1) 受験票を持参しないと受験できません。
- (2) 6ページに示した写真を貼付していない又は貼付写真が不鮮明な場合は受験できません。
- (3) 鉛筆又はシャープペンシル以外のものを使用してマークした場合、採点機で読み取れず0点となる場合があります。筆記用具の貸出はありませんので必ず持参してください。筆記用具を持参しない方への対応はいかなる場合でもいたしません。
- (4) 試験開始30分前に集合し、試験に当たっての注意事項の説明を受けてください。
- (5) 試験室へは集合時間から入室できます。
- (6) 来場には公共交通機関を利用し、車、バイク、自転車を使用しないでください。近隣店舗への無断駐車、送迎のための駐車車も固くお断りします。
- (7) 注意事項を守らない、試験実施の妨げになる行為をするなど試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。なお、不正行為については状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (8) 試験問題集及び解答カードを持ち帰ることはできません。
- (9) 試験室内は撮影禁止です。
- (10) **いかなる理由があっても、試験会場への問合せは固くお断りします。電話をされても対応できませんので試験実施の有無や電車遅延等の問い合わせは絶対にしないでください。**
- (11) 試験会場にはゴミ箱がありませんので缶、ペットボトル等のゴミは必ずお持ち帰りください。試験会場の施設（トイレ等）は大切に使用してください。路上を含め、指定された場所以外では喫煙しないでください。試験会場によっては喫煙場所がない場合があります。
- (12) 試験中の日常的な生活騒音等（試験監督員の巡視による足音、監督業務上必要な打ち合わせ、空調や周辺道路の音、周囲の受験生の咳やくしゃみなど）はご容赦ください。
- (13) 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当支部とは一切関係ありませんのでご注意ください。
- (14) 試験会場ごとに別途注意事項がある場合がありますので、事前にホームページの確認をお願いいたします。
- (15) 試験に関する変更事項や中止等のお知らせは、当支部ホームページに掲載いたします。最新の情報を注意してご覧いただきますようお願いいたします。
- (16) 所持品の取り扱い

試験中に机の上に置けるもの

- ・ B又はHBの黒鉛筆、シャープペンシル、プラスチック消しゴム
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー等音の出るもの、大型のものは不可。）

- ・ 腕時計は腕から外して机の上に置いてください。試験中に時計の操作はしないでください。
- ・ スマートフォン、ペンケース等も含め、筆記用具以外のご自身の持ち物は全てカバンに入れて机や椅子の下に置いて受験していただきます。ご自身の持ち物をしまうカバン等をお持ちください。透明のビニール袋やファイルは不可。

試験中に次のものは使用できません

- ・ 参考書、法令集等、電卓、定規類
- ・ イヤホン、耳栓、帽子やサングラスの着用
- ・ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末、タブレット端末等、音の出る電子機器類

- ・ 電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。また、時計として使用することはできません。
- ・ イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。耳栓は試験監督員の指示が聞こえない場合がありますので使用できません。
- ・ カンニング行為や試験中にこれらのものを身につける、手に持っている、または使用すると不正行為とみなし、受験は直ちに中止、退出となり、試験は失格とします。

病気、負傷や障害等により机に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮について（5ページ）をご確認のうえ、受験願書提出前（電子申請の方は申請前）に当支部にお問い合わせください。当日の申し出には応じられない場合があります。

危険物取扱者試験受験願書〔記入例〕

注 意 事 項

- ◎受験願書A面の《記入上の注意》をよく読んでから記入例にしたがって記入してください。
- なお、書き損じた場合は、横2本線を引いてその上方に正しく書いてください。
- ◎2種類以上の種類を受験する方は、受験する種類ごとに受験願書を作成してください。
- ◎令和6年度以前に配布された受験願書は使用できません。

左づめで、住民基本台帳に記載されている字を記入

外国籍の方

住民基本台帳に記載されている漢字又は在留カード・パスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。但し、文字数に制限があるため氏名のマスが不足する場合は郵便が届く程度に省略してください。省略された方は欄外に正しい氏名を記入してください。

危険物取扱者試験受験願書 (全国共通)

濁点、半濁点は1マス

かい書で丁寧に記入

マスが不足する場合は、郵便が届く程度に適宜省略

訂正する場合は、＝線で消し、上に正しいものを記入

試験日を記入

試験種類を記入

受験地を記入
(ホームページ日程を参照)

甲種受験者は受験案内P13別記の「記入略称」により記入

火薬類免状を取得している方で「受ける」に○を付けた方は、火薬類免状のコピーをB面裏面に貼付

2種類以上の受験者はそれぞれの願書に他の種類を記入

危険物取扱者の他の種類の免状を取得している方は全て記入
B面裏面に免状のコピーを貼付

申請する日を記入

外国人の方は、「外国籍」と記入

受験願書裏面の「都道府県コード」を記入

日中連絡がとれる番号を記入
(申請書類に不備があった場合の連絡に使用)

主となるものに○

免状番号は、免状の写真下に記載されている番号を記入

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名		神奈川県		申請日		令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日			
申請者氏名				シヨウボウ				タロウ			
氏名				消防				太郎			
生年月日		(大) (昭) (和) 07 年 01 月 16 日生		本籍		神奈川県		都道府県コード		14	
郵便番号		231-0015		必ず記入してください		自宅電話番号又は携帯電話番号		045-633-5051			
住所		神奈川県横浜市中央区尾上町		勤務先又は学校名		(株) 〇〇〇〇		連絡先電話番号(携帯電話も可)		〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
試験日		令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日		試験種類		甲種 乙種 丙種 第一 第4類		受験地		〇〇 大学	
受験資格		甲種受験資格		乙種受験資格		丙種受験資格		科目免除		火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) (受けない)	
科目免除		乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) (受けていない)		5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する) (該当しない)		同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること		甲種 乙種 丙種 第一 第4類		1・2 類	
免状取得の有無について記入してください		有 () 無 ()		免状番号		〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇		免状交付年月日		交付番号	
取得している危険物取扱者免状は全部記入してください		元号コード (昭和4 令和5)		免状交付年月日		交付番号		※入力番号		交付知事	
甲		5 01 09 10		00001		神奈川県		14			
乙1											
乙2											
乙3											
乙4											
乙5											
乙6											
丙		4 30 12 20		01130		神奈川県		14			

(A面) 試験センター発行 507

※受験願書は全国共通です。

所

試験日 年 月 日

試験種類 甲 乙 丙 種 一 第 類

受験地

甲種受験資格

火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱 (受ける)
保安責任者免状による試験科目免除を

科目免除 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている)
5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)

※1 申込書
※2 受験料
※3 資格
※4 免除
※5 種数
※6 併願

「振替払込受付証明書(お客様用)」を貼る。

◎払込用紙で払込みの場合

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

振替払込受付証明書(お客様用)
(郵便局・ゆうちょ銀行・ご依頼人)
この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。

払込金額 ※ 千 百 十 万 千 百 十 円
¥ 〇 〇 〇 〇

加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター

口座記号 00170-3-136220

※ご依頼人住所 横浜市中区尾上町5-80
コーポ〇〇〇101号

氏名 消防 太郎

(電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇)

[郵便局へ]⇒日附印を押印

貼ってください

日附印

横浜 〇.〇.〇〇
〇2421

日附印なき証明書は無効
(払込人・消防試験研究センター)
(承認番号東証第2015号)

金額を確認してください。
甲種 7,200円
乙種 5,300円
丙種 4,200円

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー、PayPay、メルペイ

決済完了番号(18桁)
※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

備考

1 この用紙の大きさは、日本産規格A4とすること。
2 本誌の欄は、外国籍の者は、※印の欄は、

必ず決済完了番号を記入してください。

※国 体 コード 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

※受付機関 コード 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

※分 類 コード 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

※ATM機での振込不可。
窓口でお支払いください。

(B面)

(所定の払込用紙)

こちらを願書に貼ってください。

00 東京 払 込 取 扱 票

日 付 記 号 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

金額 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一般財団法人 消防試験研究センター

〒 (郵便番号 231-0015) 住所 横浜市中区尾上町5-80
コーポ〇〇〇101号

氏名 消防 太郎

(電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇)

・郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書(お客様用)」に日附印を押印をうけてください。
・願書には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書(お客様用)」を貼ってください。
・金額の訂正は無効です。

ご依頼人欄に、住所・氏名をご記入ください。(承認番号東証第2015号)
これより下部には何も記入しないでください。

受験申請者氏名を記入

振替払込請求書兼受領証

日 付 記 号 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

金額 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一般財団法人 消防試験研究センター

〒 (郵便番号 231-0015) 住所 横浜市中区尾上町5-80
コーポ〇〇〇101号

氏名 消防 太郎

(電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇)

・郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書(お客様用)」に日附印を押印をうけてください。
・願書には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書(お客様用)」を貼ってください。
・金額の訂正は無効です。

ご依頼人欄に、住所・氏名をご記入ください。(承認番号東証第2015号)
これより下部には何も記入しないでください。

貼ってください

日附印

横浜 〇.〇.〇〇
〇2421

日附印なき証明書は無効
(払込人・消防試験研究センター)
(承認番号東証第2015号)

・金額の訂正は無効です。本人の訂正印も認めません。
新しい所定の払込み用紙を使用してください。

・金額の記載のないものは受付できません。

・日附印の無いものは受付できません。

・鉛筆及び消せるボールペンでの金額の記載は不可。



ATMはダメ!

(B面裏面)

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

各種証明書等を貼付してください。

都道府県等コード表

北海道 01	福島 07	東京 13	山梨 19	滋賀 25	鳥取 31	香川 37	熊本 43
青森 02	茨城 08	神奈川 14	長野 20	京都 26	島根 32	愛媛 38	大分 44
岩手 03	栃木 09	新潟 15	岐阜 21	大阪 27	岡山 33	高知 39	宮崎 45
宮城 04	群馬 10	富山 16	静岡 22	兵庫 28	広島 34	福岡 40	鹿児島 46
秋田 05	埼玉 11	石川 17	愛知 23	奈良 29	山口 35	佐賀 41	沖縄 47
山形 06	千葉 12	短 井 18	三重 24	和歌山 30	徳島 36	長崎 42	外国籍 99

「実務経験2年以上」の受験資格で
甲種を受験する方のみ必要です。

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	〇〇 〇〇	〇〇 年 〇 月 〇 日生
取り扱った危険物	第 4 類	品名 ガソリン、灯油、軽油
取り扱った期間	〇〇 年 〇 月 〇 日から 〇〇 年 〇 月 〇 日まで (〇 年 〇 月)	
製造所等の区分	・ 製造所 ・ 貯蔵所 (取扱所)	
上記のとおり相違ないことを証明します。		
証明年月日	〇〇 年 〇 月 〇 日	
事業所名	〇〇〇 株式会社	
証明者	役職 代表取締役	
氏名	〇〇 〇〇	
電話	〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇	

交付を受けてから
取り扱った期間を記入

試験を受験する方は、
事項が記入されてお
の。)を貼付して下さ
3第4項第1号及び

該当するものに
○をつけてください

事業所(会社等)の印 } 両方
証明者(事業主等)の私印 } 必要です

既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄

危険物取扱者講習の状況		
修了年月日	講習実施機関	証印
〇〇〇〇〇〇	神奈川県	神奈川県知事

危険物取扱者免状をお持ちの方は受
験資格・科目免除に関係なく免状の
コピー(表、裏)を貼ってください。

※氏名、本籍等に変更のある方は速やかに書換えしてください。

危険物取扱者免状 見本

氏名	〇〇 〇〇			本籍	〇〇 県
生年月日	〇〇 年 〇 月 〇 日	交付年月日	〇〇 年 〇 月 〇 日	交付番号	〇〇〇〇〇〇
種類等	甲 種	交付年月日	交付番号	交付知事	〇〇 県知事
乙種1類					
乙種2類					
乙種3類	H26.00.00	00100	東京		
乙種4類	H26.00.00	00200	東京		
乙種5類					
乙種6類					
丙 種					



〇〇 県知事

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

(B面裏)

免状を持っている皆さんへ

- 免状の写真は交付日から10年以内ごとに書換えが必要です。
- 書換え期限の過ぎた免状をお持ちの方は至急書換え手続きを行ってください。
- 免状の記載事項(本籍、氏名等)に変更があった場合は書換えをしてください。

- ・証明書類については、該当の学科、専攻、修得単位等が明記されているものが必要です。(コピー可)
(証明書類と姓が違う場合は、戸籍抄本等の証明書類を添付してください。)
- ・旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問合せください。
- ・過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。〔資格判定コード〕欄に番号が印字されているものに限る。コピー可)
- ・証明書類が日本語以外の言語で記載されている場合は、願書提出前に当支部までご連絡ください。
- ・「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

対 象 者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	願書資格欄 記入略称	証 明 書 類
[1] 大学等において化学に関する学科等を卒業した方(専門職大学の前期課程を修了した方)	大学、短期大学、高等専門学校、(注1)専修学校。 大学・短期大学・高等専門学校・(注2)高等学校若しくは中等教育学校の専攻科。 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等。専門職大学の前期課程を修了。	大学等卒	学校長の卒業証明書 又は 卒業証書、学位記
[2] 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (別表2参照) (注3)	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校(高等専門学校は専門科目に限る)、大学院、専門職大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	学校長の単位修得証明書(注4) 又は 成績証明書
[3] 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方。	実務2年	乙種危険物取扱者免状の コピー 及び 乙種危険物取扱実務経験証明書(注5)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方。 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類(必須) ○第5類(必須)	4種類	乙種危険物取扱者免状の コピー
[4] 修士・博士の学位を有する方(別表1参照)	修士、博士の学位を授与された方で化学に関する事項を専攻したもの(外国の同学位も含む)。	学位	学位授与証明書、学位記、修了証書 又は 修了証明書 (学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)

注1. [1]、[2]の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。)

- (1)専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
- (2)専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面(書式例1を参照してください。)

注2. [1]の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。

注3. [2]の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。また、放送大学も同様に算定できます。複数の大学等で単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。

注4. [2]の「単位修得証明書」は、書式例2を参照してください。

注5. [3]の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。(P.12参照)

別表 1

化学に関する学科等の例

- 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 次の表に示す学科又は課程等
学科の名称にかえて「部門」又は「専攻」「系」「コース」等の名称を用いるものは、学科又は課程とみなします。

提出書類……………・学科名が記載されている卒業証明書又は卒業証書
(次のいずれか一つ (コピー可))・学位授与証明書、※学位記、修了証書又は修了証明書
(学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)

化学に関する学科又は課程等の名称								
ア イ エ オ	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科	
	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科	
	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科	
	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科	
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科	
	応用生物工学科		サ		材料開発工学科		生物機能工学科	物質分子学科
	応用生命科学科				材料科学科		生物工学科	物質理工学科
	応用生命工学科				材料科学工学科		生物資源科学科	プロセス工学科
	応用微生物工学科				材料加工学科		生物資源利用学科	分子工学科
	カ				環境生命科学科		材料学科	生物生産科学科
環境物質工学科		材料機能工学科	生物分子科学科	分子生物学科				
環境マテリアル学科		材料工学科	生物薬学科	分子生命科学科				
キ		基礎理学科	材料物性学科	精密素材工学科	分子素材工学科			
		機能高分子学科	材料物性工学科	精密物質学科	マ	マテリアル科学科		
	機能高分子工学科	材料プロセス工学科	生命理学科	マテリアル工学科				
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科	製薬学科	ム	無機材料工学科		
	機能物質科学科		資源工学科	繊維工学科	ヤ	冶金学科		
	機能分子工学科		資源素材工学科	繊維高分子工学科	冶金工学科			
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科	薬科学科		
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科	薬学科		
	金属工学科	食品学科	素材工学科	薬剤学科				
	金属材料科学科	食品工学科	ト	塗装科	薬品科学科			
金属材料工学科	食品工業科学科	ハ		醗酵（発酵）工学科	ユ	有機材料工学科		
ケ	原子工学科		食料科学科	醗酵（発酵）生産学科	ヨ	窯業工学科		
	原子力科	森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科		
	原子力工学科	製剤学科		物質科学工学科	林産工学科			
	原子炉工学科	製糸学科		物質工学科				

別表 2

化学の授業科目例

- 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目 (ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 次の表に示す授業科目
(ただし授業科目名の前後に基礎、応用、論、序論、理論、各論、概論、特論等の名称のつくものは、同一の授業科目とみなすことができる。)
- 1、2に該当しない場合は書式例2の『単位修得証明書』などにより学校長等が化学の授業科目と認めた授業科目

提出書類……成績証明書 又は単位修得証明書 (コピー可)

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称							
ア	アモルファス物性工学	イ エ	医用高分子機能学	カ	界面工学	カ	核融合工学概論
	安全管理学		衛生工学		界面制御学		化工熱工学
	安全工学		衛生薬学		界面電子工学		化工熱力学
	安全防災工学		栄養学		界面物性		化工物理学
	イ		移動現象論		エレクトロセラミックス		科学史
移動速度論		エレクトロニクス材料工学	核燃料工学	化石エネルギー			
医薬品安全性学		オ	応化・プロセス工学	核燃料サイクル特論	火薬学		
医薬分子設計学		カ	回折結晶学	核融合概論	ガラス工学		

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称

カ	ガラス材料	コ	高分子学	セ	製剤工学	チ	超高温材料
	ガラス状態論		高分子工学		製紙科学		調剤学
キ	ガラス物性	サ	高分子合成		製紙学	テ	鉄鋼材料学
	環境汚染物質分析学		高分子構造		製紙工学		鉄鋼表面処理
ク	環境物質工学		高分子固体構造論		製造薬学	ト	鉄冶金
	感光物性論		高分子コロイド科学		生体機能工学		定性分析
ケ	岩石学		高分子材料学		生体機能電気科学	ニ	定量分析
	官能基変換論		高分子反応		生体機能利用学		電解製錬工学
コ	機器分析		高分子物性論		生体工学	ネ	電解反応
	機能高分子学		固相変態論		生体高分子学		電気材料学
ク	機能性高分子材料学	シ	固体反応		生体触媒学	ハ	電気電子材料科学
	機能性材料工学		固体表面科学		生体光反応学		電気電子材料学
ケ	機能性触媒工学		固体物性論		生体分子工学	ヒ	電極反応論
	機能性有機材料		固体平衡論		生体分子反応		電子材料
コ	機能セラミック論		コロイド学		製鉄製鋼耐火物	ノ	電子物性
	凝固論及び結晶生成		細胞培養学		生物機能開発学		伝熱工学
カ	金相学	ス	材料解析	ソ	生物機能工学	タ	同位体地球科学
	金属学		材料開発工学		生物機能利用学		毒劇物学
キ	金属加工学		材料科学		生物工学	ハ	特殊機能セラミックス
	金属工学		材料加工学		生物資源科学		毒性学
ク	金属材料学		材料強度学		生物資源利用学	ニ	毒物学
	金属材料工学		材料強度物性学		生物反応工学		土壌学
ケ	金属製錬学		材料結晶学		生物物性学	ネ	塗装学
	金属組織学		材料工学		生物分子科学		塗装工業科学
コ	金属の相変態	シ	材料構造解析学		生物薬学	ハ	ニューセラミック学
	金属表面処理		材料精製工学		精密材料物性		燃焼学
ケ	金属物性		材料精密工学		精密素材工学	ノ	燃焼工学
	計算溶液特論		材料組織学		精密分離工学		燃焼熱工学
コ	結晶回折	ス	材料組織形成論		精密有機合成特論	ハ	燃焼物理科学
	結晶材料工学		材料熱力学		製薬学		粘土工学
ク	結晶評価工学	セ	材料反応学		生理活性物質学	ノ	燃料工学
	原子エネルギー工学		材料物性学		精錬漂白論		燃料工業
コ	原子核工学	シ	材料物理工学		石油開発工学	ハ	燃料燃焼潤滑論
	原子力工学		材料プロセス設計		石油生産工学		燃料燃焼論
ケ	原子炉材料学	シ	錯塩基及び酸化還元		接合学	ノ	燃料分析学
	原子炉燃料		産業廃水处理		接着及び接着剤		燃料分析学
コ	高温材料	シ	色彩工学		接着学	ハ	農薬学
	高温反応工学		色染実験		セメント工学		バイオテクノロジー
ク	光学活性体合成論	ス	システム安全工学		セラミック科学	ハ	バイオペロセス工学
	高機能材料特論		焼結固体反応論		セラミック基盤材料		培養工学
コ	高機能材料プロセス特論	セ	焼成材料		セラミック工学	ハ	爆発工学
	工業火薬学		醸造学		セラミック材料学		薄膜材料工学
ケ	工業材料	セ	醸造工学		セラミックス概論	ヒ	醗酵（発酵）学
	工業排水処理		醸造工業概論		セラミックス材料工学		醗酵（発酵）工学
ク	工業爆薬学	セ	状態方程式特論		セラミックス電子材料	ヒ	醗酵（発酵）工業論
	工業反応速度論		触媒工学		セラミックプロセッシング		醗酵（発酵）生産学
コ	工業微生物学	セ	触媒設計		セルロース科学	ヒ	パルプ学
	工業分析		触媒反応工学		繊維高分子工学		パルプ工学
ケ	格子欠陥	ス	食品衛生学		選鉱学	ヒ	半導体工学
	公衆衛生学		食品栄養学		先端材料物性特論		半導体材料
コ	高重合反応	セ	食品科学		相平衡論	ヒ	半導体デバイス工学
	合成鉱物		食品工学		相変態論		反応工学
ク	抗生物質	セ	食品工業微生物学		素材工学	ヒ	反応性物質材料
	厚生薬学		食品分析学		耐火物概論		反応操作
コ	合成薬品製造学	セ	植物分子生物学		耐熱材料特論	ヒ	反応速度論
	構造用金属材料		人工結晶		多結晶材料工学		非金属材料
ケ	酵素利用学	セ	人造繊維工学		単位操作	ヒ	非晶質科学
	鋼中非金属介在物		新薬論		単位反応学		微生物遺伝学
コ	鉱物学	セ	水質学		単結晶材料工学	ヒ	微生物学
	高分子科学		製剤学		蛋白質工学		微生物機能学
							微生物工学

化学の授業科目の名称（前頁に続く）

ヒ	非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学	フ	分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ミ	水処理実験 水の分子工学特論	ユ	有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学	ヘ	平衡論 平衡・反応論	メ	免疫薬剤学	ヨ	窯業工学 窯炉工学
		ホ	放射線計測学 放射線物性計測学	モ	木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学工学 木質資源工学	リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
		マ	膜機能工学 マテリアル工学	ヤ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	レ	
		ミ	水処理工学	ユ	有機機器分析		

書式例1 専修学校用受験資格証明書

第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

年 月 日 入学 ○○科 ○○コース
年 月 日 修了

氏名 ○ ○ ○ ○
年 月 日 生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 年 月 日 号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
年 月 日
(専修学校の所在地)
○○専門学校 学校長 氏名 ○○ ○○ 印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例2 単位修得証明書

第 号

単位修得証明書

年 月 日 入学 ○○部 ○○科
年 月 日 修了

氏名 ○ ○ ○ ○
年 月 日 生

化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
年 月 日
○○大学 学長 氏名 ○○ ○○ 印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。
《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

問合せ先 (一財) 消防試験研究センター神奈川県支部

〒231-0015 横浜市中区尾上町5丁目80番地 神奈川中小企業センタービル7階

電 話 045-633-5051 F A X 045-222-3051



【インターネットホームページ】 <https://www.shoubo-shiken.or.jp> 【携 帯】 <https://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

電子申請の問合せ先

(一財)消防試験研究センター 電子申請室

電話 0570-07-1000(有料) 受付時間 平日 午前9時から午後5時まで

*一般財団法人消防試験研究センターは試験実施機関であり、試験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。